



山田照明器具人感センサー

保管用

- このたびは山田製品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
- 正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客さまはお読みになったあとも必ず保管してください。

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事に依頼してください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ

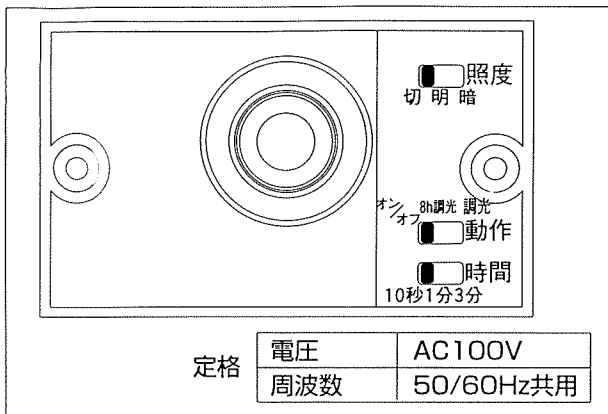
工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡してください。

照明器具用人感センサー TG-266

- 照明器具にセンサー機能をもたせることができます。
※TG-266取付可能形器具専用です。
- 照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るいときは点灯しないように設定できます。

事前に確認ください

- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
- 調光器のついている回路ではご使用になれません。
- 湿度の高い浴室などではご使用できません。



■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様へ

施工上のご注意



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- センサーの取り付けは、取扱説明書に従い行ってください。取り付けに不備があると、落下・感電・火災の原因となります。



取り付け

- 電源の接続は取扱説明書に従い行ってください。接続が不完全ですと、火災の原因となります。



電源線接続



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- このセンサーは防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用できません。火災・感電の原因となります。



湿度

- 交流100V以外の電圧で使用しないでください。間違えて過電圧が加わりますと、火災の原因となります。



電源電圧

●お客様へ

使用上のご注意



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- センサーに直接水をかけたり、センサーの隙間に金属を差し込まないでください。センサーの破損によるけがや、感電・火災の原因となります。



禁止

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。切りませんと、感電の原因となります。



電源を切って

- センサーを分解や改造したり、部品を変更しないでください。火災・感電・落下の原因となります。



改造



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。高温になっております。やけどの原因となります。



接触禁止

- 温度の高い場所では使用しないでください。暖房器具・ガス器具の真上では使用しないでください。火災の原因となります。



高温禁止

- ランプ交換の際は、必ず器具に表示されているランプの種類、ワット (W) 数の適合ランプをご使用ください。間違った種類、ワット (W) 数のランプをご使用の場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。(電球形蛍光ランプは使用できません)

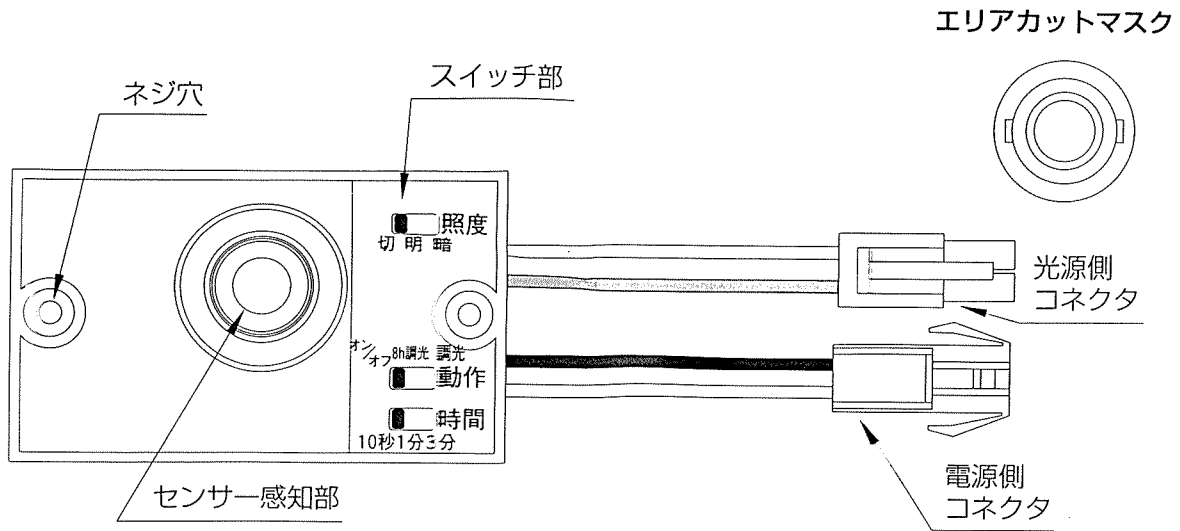
■お手入れのしかた

△注意 お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 器具はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- 器具センサー部分に直接水をかけて洗わないでください。

- 器具やセンサーをいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電などの原因となります。

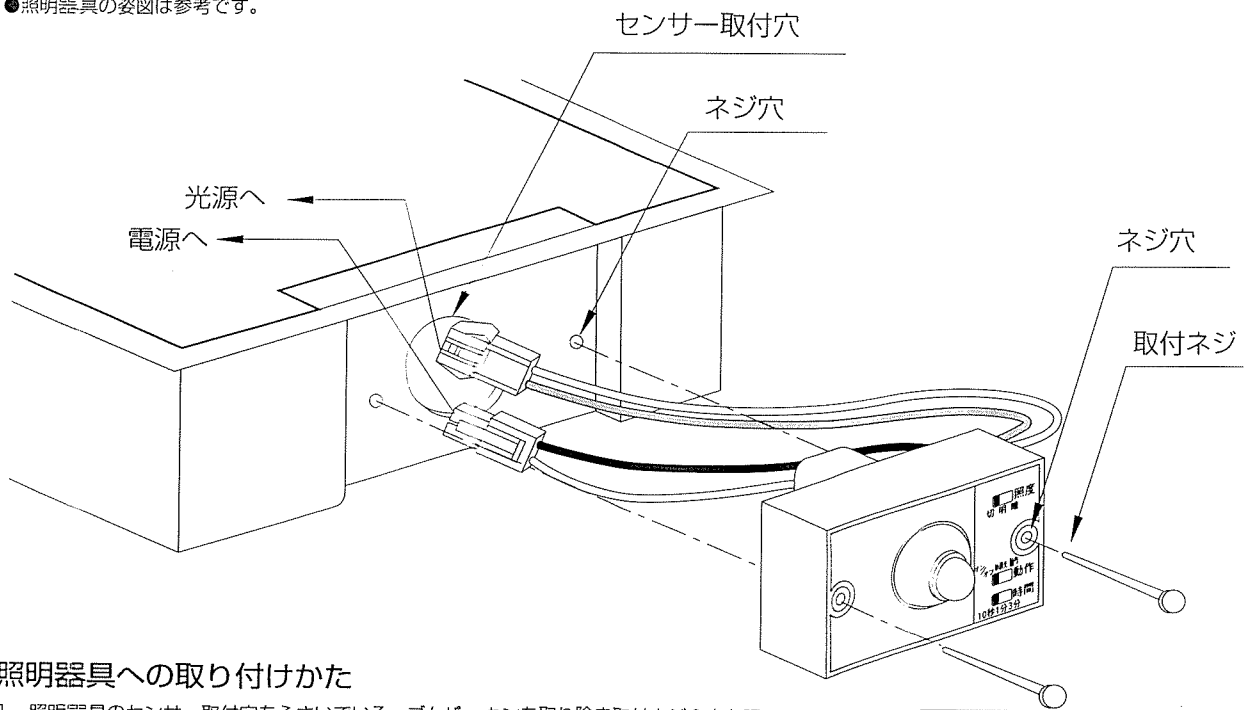
■各部のなまえ



■照明器具への取り付けかた ●弊社指定の専用照明器具以外には取り付けられません。

⚠ **警告** 必ず電源を切ってから行ってください。切りませんと感電の原因となります。

●照明器具の姿図は参考です。



照明器具への取り付けかた

1. 照明器具のセンサー取付穴をふさいでいる、ゴムパッキンを取り除き取付ネジ2本を照明器具から取り外してください。

(*取付ネジ(2本)は、「TG-266」を取付ける際必要となります。)

2. 照明器具のネジ穴とセンサーのネジ穴の位置に合わせ取付方向を確認してください。

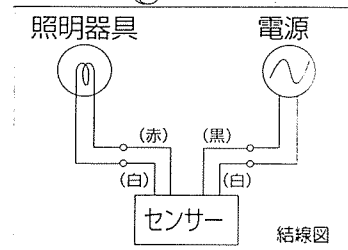
3. センサー取付穴にセンサーの線をすべて入れてください。

4. 取付ネジ2本で取り付けてください。

5. 照明器具内のコネクタを外し、センサーのコネクタを接続してください。

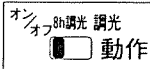
注1. 照明器具に遮熱板が付いている場合は、遮熱板をはずしてコネクタを接続してください。コネクタを接続したあとに必ず遮熱板を取り付けてください。取り付けないと感電・火災の原因となります。

注2. 照明器具にコード止め(結束バンド)が付いている場合は、TG-266センサーのコネクタをコード止めに通してからコネクタを接続してください。コネクタを接続してからコード止めで固定してください。固定しないと感電・火災の原因となります。

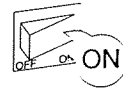


■センサー機能について

●動作設定スイッチ



●出荷時は「オン/オフ」に設定してあります。

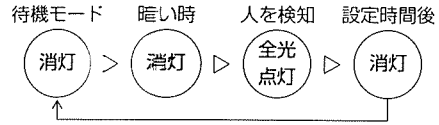


壁スイッチ「ON」

「ON」で一旦照明が100%点灯後、自動的に待機モードに切り替わります。

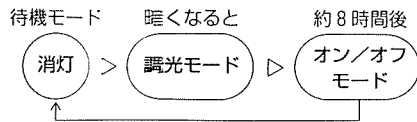
オン/オフ スイッチ オン/オフ モード (消灯⇔全光点灯)

- 周囲が暗くなり、検知エリア内に入りますと自動的に全光点灯します。
 - ・検知エリア内で人が動いている間は、連続点灯します。
 - ・検知エリアから人が離れたり、静止しますと設定時間後に消灯します。
- 周囲が設定より明るいときは点灯しません。



8h調光 スイッチ 8時間の調光モード ⇒オン/オフ モード

- 周囲が暗くなると、調光点灯し調光モードになります。
 - ・約8時間の調光モード後自動でオン/オフモードに切り替わります。
- 調光モード中の約8時間の間は周囲が明るくなくても消灯しません。



調光スイッチ

- 周囲が暗くなると、自動的に調光モードになり点灯します。
- 検知エリア内に人が入りますと、全光点灯となります。
 - ・検知エリア内で人が動いている間は、全光連続点灯します。
 - ・検知エリアから人が離れたり、静止しますと設定時間後に自動的に調光点灯に戻ります。
- 周囲が設定照度より明るくなりますと、消灯します。



●点灯照度設定スイッチ



●出荷時は「切」に設定してあります。

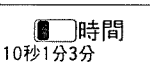
- センサーが感知する周囲の明るさを調整します。
 - [暗] スイッチ
- 暗い照度（約15ルクス）で点灯します。
- 明るい照度（約45ルクス）で点灯します。
- [切] スイッチ
- 周囲が明るい時でも、人を検知するたびに、全光点灯します。
- 器具を設置したときなど、人感センサーの検知エリアを調整、確認することができます。

照度「切」スイッチで人感センサーの検知エリアを切明暗調整、確認できます。

検知エリアの確認のしかた

1. 照度スイッチを「切」に合わせて下さい。
 2. 動作設定スイッチを「オン/オフ」に合わせて下さい。
 3. 電源（壁スイッチ）を入れて下さい。
- 周囲の明るさ・動作設定に関係なく人を感知すると点灯し、感知しなくなってから設定時間後に消灯します。
- *全光点灯時間設定スイッチを「10秒」に設定しておくことをおすすめします。

●全光点灯時間設定スイッチ



●出荷時は「10秒」に設定してあります。

検知エリアから、人が離れたり静止した後の点灯時間を設定できます。10秒、1分、3分の3段階に調整できます。

スイッチの組合せ

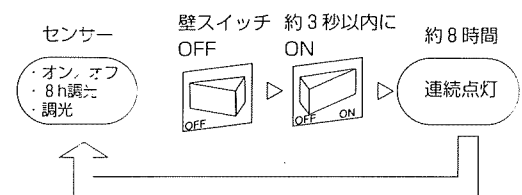
		照度スイッチ		
		オン/オフ	8h調光	調光
照度 スイッチ	切	1	2	3
	明	4	5	6
	暗	7	8	9

約8時間後設定照度でオン/オフモードへ

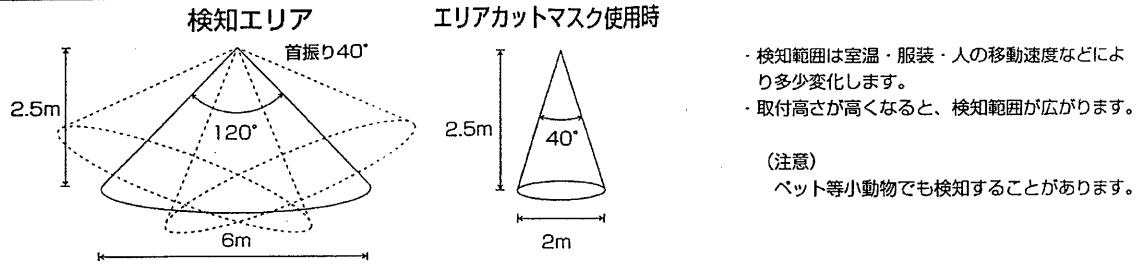
- 1 明るさに関係なく人を感知すると全光点灯。（消灯⇔点灯）
- 2 8時間調光点灯で待機。明るさに関係なく人を感知すると全光点灯。約8時間後でオン/オフモードへ（明るさに関係ない）
- 3 調光点灯で待機。明るさに関係なく人を感知すると全光点灯。
- 4 照度約45ルクスで人を感知すると全光点灯。（消灯⇔点灯）
- 5 照度約45ルクスで8時間連続調光点灯で待機。人を感知すると全光点灯。約8時間後設定照度でオン/オフモードへ。
- 6 照度約45ルクスで調光点灯。人を感知すると全光点灯。
- 7 照度約15ルクスで人を感知すると全光点灯。（消灯⇔点灯）
- 8 照度約15ルクスで8時間連続調光点灯で待機。人を感知すると全光点灯。約8時間後設定照度でオン/オフモードへ。
- 9 照度約15ルクスで調光点灯。人を感知すると全光点灯。

■連続点灯について

- 壁スイッチを操作することにより、周囲の明るさ、人体検知に関係なく器具を点灯させることができます。
- 壁スイッチをOFFにしてから約3秒以内にONにすると連続点灯状態になります。連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサーモード点灯にもどります。
- 連続点灯状態の時に、壁スイッチをOFFにしてから約5秒以上してからONにするとセンサーモード点灯状態になります。
- 連続点灯中に壁スイッチ操作（約3秒以内にOFF→ON）を行なった場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯になります。



■検知エリア

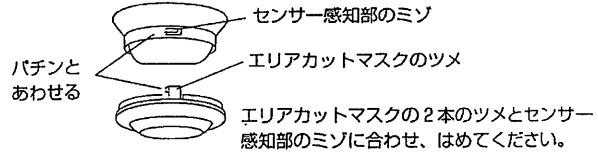


検知エリアの確認のしかた

1. 照度スイッチを「切」に合わせて下さい。
 2. 動作設定スイッチを「オン/オフ」に合わせて下さい。
 3. 電源（壁スイッチ）を入れて下さい。
- 周囲の明るさ・動作設定に関係なく人を感知すると点灯し、感知なくなつてから設定時間後に消灯します。

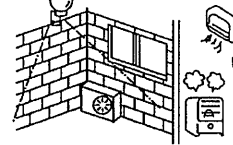
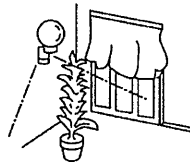
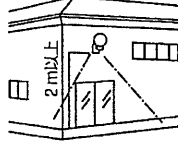
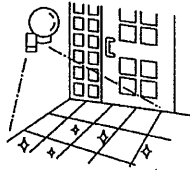
*全光点灯時間設定スイッチを「10秒」に設定しておくことをおすすめします。

エリアカットマスクの取付け方



次のような場所には取付けないでください。（検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。）

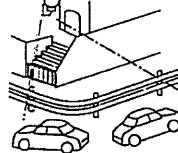
- ①大理石など反射の強い床面のある場所。
- ②取付高さが2m以上になる場所。
- ③風などでよく揺れるのれんや植物などが器具のそばにある場所。
- ④エアコンの吹き出し口の近く。吹き出し口に対向する場所。



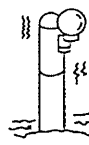
- ⑤前面に障害物のある場所。（透明なガラスでも遮断されます。）



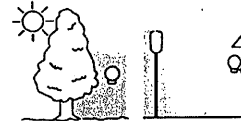
- ⑥検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



- ⑦振動の激しいボールなど、不安定な場所。



- ⑧昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。
・取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられる場合は、別途スイッチを設置してください。



■保証とアフターサービスについて

この取扱説明書及びお買い上げ日を特定できるものはたいせつに保管してください。

保証期間

●記載の照明器具の保証期間は商品お買い上げ日より1年間です。

保証内容

取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

保証の免責事項

保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。

1. 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
2. お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷
3. 火災、地震、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
4. 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
5. 施工上の不備に起因する故障や不具合
6. 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障及び損傷
7. 日本国内以外での使用による故障及び損傷

修理を依頼されるとき

1. 保証期間中は万一故障が起きた場合は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店または、弊社サービス受付窓口までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店または、弊社サービス受付窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

修理に関する相談並びにご不明な点は、お買い上げ販売店または、最寄の支社・営業所・サービス受付窓口までお問い合わせください。